



地域支え合い活動委員会 報告会を開催しました!!

去る3月15日(木)につながるまちひろがるまち～ひとりの問題から始まる地域づくり～をテーマに、報告会を開催しました。オープニング動画で紹介された23地域の「お宝」には、「つながり」という共通点があり「人と人」「人と場所」がつながることの大切さを改めて実感しました! また、会場の皆さんは、野嵩3区、真志喜区、上大謝名の実践報告から、「誰もが役割を持てる地域づくり」のヒントが得られたようです。今回は、時間の都合上3地域の報告でしたが、宜野湾市では各地域で素晴らしい「つながり活動」が実践されています!



*野嵩3区の実践報告より

【テーマ】世代や属性を超えた居場所づくり

【報告者】(委員長)大城洋子氏、(副委員長)具志堅幸一氏

「誰でも気軽に足を運べる場所」をモットーとし、20代から90代までの男女、障がいの有無に関わらず、互いに支え合い、気にかけて合う野嵩3区! 公民館には、いつでも賑やかな笑い声が響いています。「みんなの畑」を通して生まれた「役割」は、それぞれの「生きがい」となり、チュイシーの心が、いつの間にか「地域共生社会」になっている事例でした。

*真志喜区の実践報告より

【テーマ】子ども支援からひろがるそれぞれの社会参加

【報告者】(委員長)名城清氏、(委員)西江徳雄氏

将来の担い手を地域の「教育力」で育てたい、そんな思いからスタートした子ども支援は、学校や保護者だけでなく、地域の高齢者、大学生、お弁当屋さんなどネットワークを広げ、地域のつながり活動へと展開している事例でした。学力の底上げだけでなく、異世代交流で育まれる「支え合いの心」は、子ども達の成長に欠かせない大切な体験です!



*上大謝名の実践報告より

【テーマ】Aさんからひろがる新しい『つながり』

【報告者】(委員長)山城廣司氏、(副委員長)大城ちねこ氏

お一人暮らしの高齢者Aさんを「放っておけない」そんな自治会長の思いを地域住民が支え、孤立させない地域づくりに取り組んでいる事例でした。ひとりのために地域ができることを考え、話し合うことは、地域課題を“我がごと”と捉えるきっかけとなり、誰もが安心して暮らせるまちづくりへと繋がっていくんですね!

